

わかば33カ所巡り～第五回 谷津田サイクリング～

はじめてのサイクリング。車の来ない谷当町の谷津田に行きました。

2014/05/07



2014年5月5日 子供の日。筆者は、孫（4歳）と父ちゃんと3人で、この子にとってはじめてのサイクリングをしに谷当町の谷津田へ行きました。この日は雨が降ったり止んだり、あいにくのはっきりしない天気でしたが、子供は天気のことなどお構いなし。水たまりがあったってへっちら。田んぼには、アメンボやいろんな虫がいた。帰る途中、田んぼの道で、近くにある乗馬学校の馬のお散歩にも出会いました。何もかもが楽しくてしょうがない、そんなサイクリングでした。

【目的地】 谷当町の谷津田

ルート



【ルートの概要】

千城台駅前～「谷当」交差点～谷当町の田んぼを一回り～谷津田

【ルートマップの表示について】

上の地図は千葉都市モノレール千城台駅を起点・終点とするルートを示しています。

- ・ 地図をクリックすると拡大・縮小可能な地図が表示され、地図の左の欄に距離、所要時間が記されています。
- ・ 拡大・縮小は、地図の左にあるプラス（+）ボタンまたはマイナス（-）ボタンをクリックすることにより行います。

【ご注意】

上記の機能のためには、マイクロソフト社のSilverlightというソフトウェア（ブラウザーのプラグイン）をインストールしておく必要があります。

【お願い】

ルートの選定にあたっては、子供連れの家族が走ることを想定して、国道・県道など交通量の多い道路を通行することは極力避けるとともに、そのような道路を横断する場合には信号のある交差点を通るようにしています。しかし、すべてそうであるとは限りませんので、常に安全第一で行動してください。サイクリングによって生じた事故は自己責任でお願いします。

道案内

【道案内 ～千城台駅から谷当町の谷津へ～】

千城台駅前のラパークを時計回りに進み、ラパークの横の駐車場入り口を通過して直進。

注：東西・南北に走る2つの道が交わる「千城台駅」の交差点の辺りは一番混み合うので、そこを避けて、裏の通りを行く。

T字路に突き当たったら右折して直進する。信号のある交差点（千城台と御成台を結ぶ大通り）まで来たら左折して、そこから先は道なりに真っ直ぐ進む。

御成街道（※）との交差点（「御成台1丁目」）を通過し、さらに「御成台3丁目」の交差点を通過すると、やがて右に東京情報大学の正門、左にハウス食品グループの千葉研究センターが見える。

※東金御成街道、提灯街道、一夜街道または権現道とも呼ばれる。徳川家康の命令で1614年に造られた船橋と東金を結ぶ街道。

情報大の先に県道66号（浜野四街道長沼線）の「谷当」交差点がある。そこからは、右側の歩道を行く。そのために、信号に従って反対側に渡る。

注： 右側の歩道を行くのは、この先で道はカーブするが、ちょうどそのカーブのところで右折したい。しかしながら、県道66号は交通量が多く、かつ見通しが悪く、右折するのが難しく危険だから。

車道の右側の歩道を進み、道がカーブする辺りにある三叉路まで来たら、そこを右折する。

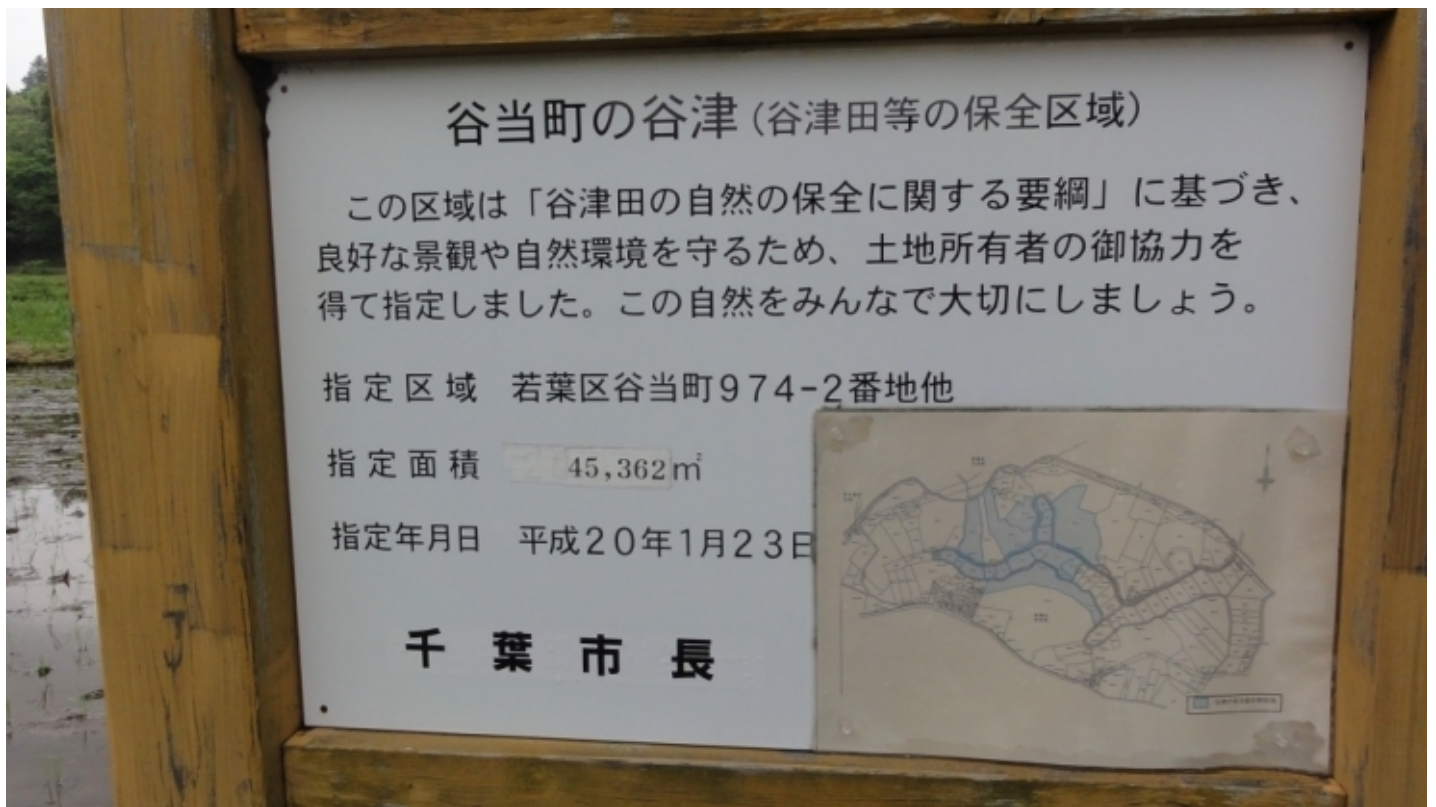
右折したらすぐに右に入る三叉路があるが、そこは右折せずに直進する。

少し行くと道は広くなる。車は少ない。道なりに進む。坂を下る。

坂を下りきって少し行くと斜めのT字路にぶつかる。そこ左折（ヘアピンのように急角度で曲がる）。

田んぼの中を一直線に走る道を行き、突き当たったら左折し、道なりに進む。先程下ってきた坂道の下りきった辺りにでたら、直進して田んぼの縁をどこまでも行く。

左手に「谷当町の谷津」の看板が見える。看板から先へ進むとやがて観緒は行きどまりとなるので、引き返す。



「谷当町の谷津」の説明板



「あっ、虫がいるよ！」



「あっちに白い大きな鳥がいる！」



「お馬さん、大きいね」 (以上の写真はいずれも2014年5月5日に撮影)